




就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	self-A・もみじ
住 所	広島市西区草津新町2-17-17 1F
電話番号	082-275-4910

事業所番号	3410214906
管理者名	森脇 崇
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容>	<活動の様子>
<p>1. 活動場所 広島市西区草津本町6-3 有限会社 坂井屋</p> <p>2. 実施日程 令和1年11月より、18~20回/月の実施</p> <p>3. 実施した生産活動・施設外就労の概要 手造り練り物製品の製造業務、材料下処理、商品梱包、出荷準備業務、軽作業（商品シール貼り、梱包資材作成など）</p> <p>4. 利用者数 7~10名/1日</p>	 <p>材料下処理作業</p>  <p>商品シール貼り作業</p>
<p>〈目的〉</p> <p>地域の中で人手不足が顕著である老舗蒲鉾屋と連携を図ることで、経営者は人手不足の解消及び経費削減のメリットを実現することができた。弊社としては、地場産業を通じて地域経済との結びつきを図るとともに、弊社の生産活動の向上、利用される方にとっては、「かまぼこ」に携わることで地域社会に貢献している気持ちが芽生え、生きる活力を感じることができていると思われる。</p>	 <p>商品梱包（真空包装）作業</p>
<p>〈成果〉</p> <p>作業工程がある程度決まっている環境での仕事をする中で、精神的な安定が図れ、出勤率が高く保たれたままで継続して利用できるようになった。 「拘り」が一つの障害としてとらえられていた方も、食品製造過程の中では、違和感に逸早く気付き安心できる商品を作ることに一役かう事が出来ている。課題としては、ユニット内の能力差で仕事量に差が生まれ不満となる事例がみられた。チームで仕事に取り組み、一人ひとりが協力しながら就労意欲の向上を目指す。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価			
<p>継続して就労できている利用者の定着率が増加している。中でも若年層の利用者の勤労意欲は評価できる。個々の特性により特定作業に集中できる利用者、多重課題に挑戦できる利用者等、能力に差が生まれているがそれぞれに長所を生かして業務に当たっている。しかし、ニーズに対応できる利用者もすべてのわけではないことも現実である。高年齢層の利用者の方の中には経験から柔軟性にかける言動もみられることがある。</p>			
今後の連携強化に向けた課題			
<p>仕事の質と量を高い水準で求めているので、そこを維持向上させるにはどうしたらよいかを双方の知恵を出し合って取り組んで行く必要がある。</p> <p>利用者の能力に合わせながらも、能力を引き上げる意識が双方に不可欠でその継続が連携強化に繋がっていくと考えられる。</p>			
連携先企業名	有限会社 坂井屋	担当者名	高崎 明彦